

達第八十九號

海軍下士卒履歷表中記入心得第一號ヲ左ノ通改ム

明治三十三年六月一日

海軍大臣 山本権兵衛

一初メテ兵籍ニ編入セラレタル下士卒アルトキハ鎮守府兵事官ハ本表ニ所要ノ記入ヲ  
ナシテ海兵團長ニ送附ス海兵團長ハ之ヲ本人ニ附與シ服役中之ヲ保持セシム

達第九十號

兵學校、機關學校、砲術練習所、水雷術練習所、機關術練習所及各病院教員員數表中兵學校  
、機械兵曹「一八」ヲ「三八」ニ計「四〇」ヲ「五〇」ニ改ム

明治三十三年六月一日

海軍大臣 山本権兵衛

九十一 海軍

正誤

本年達第三十一號治療品出納規程第一表丙主成分含量表中徵曹銃ノ下「一瓦」ハ「〇・五瓦」  
健胃銃ノ下「〇・五瓦」ハ「〇・五瓦」、「〇・一瓦」ハ「〇・一瓦」小醫療箱藥品欄健胃銃ノ下  
「一〇〇」ハ「四〇〇」徵曹銃ノ下「〇〇〇」ハ「六〇」ハ孰レモ誤

海軍省副官

0832

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第九十一號

海軍官印規程中左ノ通改ム

明治三十三年六月一日

海軍大臣 山本権兵衛

第二條 軍令部ノ下ニ「教育本部」ヲ加フ

第三條 ノ左ノ通改ム

總務長官、副官、祕書官、海軍省局長課長、大臣直屬廳長、軍令部長、次長局長、醫務局長、經理局長、教育本部長、經政本部長所屬廳長、教育本部經政本部部長、司令長官、司令官、參謀長、鎮守府部長、鎮守府司令長官所屬廳長、鎮守府經政部長所屬廳長、艦團長、司令、兵事官、望遠監督官、看護施練習所長、造船工練習所長、臨時海軍建築部支部長、任拂命令官、出納官吏取扱手續ノ規程スル所ノモノニ限ル常設軍法會議ノ主理錄事ハ職印ヲ備フ其才法ハ左ノ如シ

一 親補官ノ職印

曲尺方一寸

九十三

海軍

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 一 親補官ノ職印                           | 曲尺方一寸 |
| 二 勅任官ノ職印                           | 曲尺方九分 |
| 三 大臣直屬廳長 <small>ノ除ク</small> ノ職印    | 曲尺方八分 |
| 四 奏任官 <small>大臣直屬廳長ヲ除ク</small> ノ職印 | 曲尺方七分 |
| 五 劍任官ノ職印                           | 曲尺方六分 |

0833

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第九十二號

海軍軍醫學校規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月一日

海軍大臣山本權兵衛

第一條及第二條中「海軍大臣」ヲ「海軍省醫務局長」ニ改ム

第三條 校長ハ學年ノ終ニ於テ教官ヲ會同シ會議ヲ開キ既往學術ノ進歩及將來教育ノ改良ニ就テ審議シ學事報告ヲ作り之ヲ海軍省醫務局長ニ達スヘシ

第五條 削除

第九條 學生ハ海軍少軍醫候補生ヲ除キ十五名以内トス

第十條 選科學生タラシヨトヲ志願スルモノハ海軍軍醫學校條例第十一條及第十二條ニ據リ入學後研究セントスル學科ヲ選擇シ順序ヲ經テ願書ヲ海軍大臣ニ差出スヘシ海軍大臣ハ海軍省醫務局長ヲシテ志願者ノ學識性行ニ鑑ミ其ノ所志ヲ遂行シ得ヘキモノタルヤ否ヤヲ審査セシム

九十四

海

軍

第十一條 學生ノ學用品ハ自辦トス但シ授業ニ要スル書籍及器械等ハ其ノ種類ニ依リ貸與スルコトアルヘシ

正誤

本年達第八十三號第六條末項ノ次ニ左ノ一項ヲ脫ス

當該鎮守府艦政部長

海軍省副官

0834

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第九十三號

海軍上長官士官任用進級取扱規則中左ノ通改正ヘ

明治三十三年六月一日

海軍大臣 山本權兵衛

第一條 兵曹長同相當官ノ任用及士官上長官ノ進級ハ各其拔擢名簿調製官ニ於テ任用進級セシムルニ適當ナル者ヲ拔擢シ拔擢名簿ヲ調製シ順序ヲ經テ候補名簿調製官ニ出ヘシ

拔擢名簿調製官及候補名簿調製官ヲ定ムルヨリ別表ノ如シ

第二條 候補名簿調製官ハ必要ニ從ヒ拔擢名簿調製官其他ヲ會シ拔擢名簿ニ就キ取捨ノ議ニ參與セシメ候補名簿ヲ調製シ拔擢名簿ト共ニ之ヲ海軍大臣ニ進達又ハ移牒スルモノトス

但被拔擢者ト同等官以下ノ者ハ此議ニ參與セシメサルモノトス

第三條 侍從武官東宮武官ニ在テハ海軍將官タル侍從武官東宮武官ハ拔擢名簿及候補名

九十五 海軍

簿ヲ調製シ共ニ之ヲ海軍大臣ニ移牒スヘシ但該將官缺員等ノ場合ニ在テハ海軍總務長官之ヲ調製スルモノトス

0835

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

臺灣總督府	軍醫學校					海軍省		水路部		艦政本部		教育本部		要港部		鎮守府		常備艦隊		軍令部		候補名簿調製官	
海軍幕僚參謀長	經理局長	醫務局長	人事局長	軍務局長官	總務長官	水路部長	臨時建築部長	艦政本部長	教育本部長	要港部司令官	鎮守府司令長官	司教院園艦部參艦隊司令長官	司艦參謀司令官	司船參謀司令官	司令長官	次局長	軍令部長	候補名簿調製官	拔擢名簿調製官	被拔擢者	記事		
司令 海軍幕僚參謀長	局所課 長長長	局校課 長長長	局課 長長長	長長長	長長長	長長長	長長長	長長長	長長長	本所校部 部 部	本回監廠部 航 部委督 員	本所校部 部 部	司 司 司	司 司 司	司 司 司	司 司 司	司 司 司	司 司 司	司 司 司	司 司 司			
總督指揮下	直部部 直屬諸員 下下	全部 下	全部 下	直全全部 直屬諸員 下	直部 直屬諸員 下	直全全部 直屬諸員 下	直部 直屬諸員 下	直部 直屬諸員 下	直部 直屬諸員 下	直部 直屬諸員 下	直部 直屬諸員 下												
總督ヲ經由ス																							

達第九十四號

二等兵曹、三等兵曹及水兵其ノ他之ト同様ノ服制アルモノ、帽徽章ニ記スル名稱ハ自今  
左ノ通り相定メ本達ニ據觸スル從前ノ達號官房號等ハ總テ之ヲ廢ス

明治三十二年六月七日

海軍大臣 山本艦兵衛

軍艦、海兵團、水雷團、要塞部、港務部、豫備艦部、諸學校、諸練習所ニ在ルモノ、帽徽章ニ  
ハ其ノ定員タルト一時練習等ノ爲之ニ在ルモノトシ問ハス總テ其ノ艦團部校所ノ名稱ヲ  
記スヘシ

前記ノ外諸官舗ニ在ルモノ、帽徽章ニハ總テ當該海兵團ノ名稱ヲ記スヘシ

九十六 海軍

0837

達第九十五號

明治三十三年六月七日達第六十一號中左ノ通改正ス

海軍大臣 山本權兵衛

- 五 海軍砲術練習所ノ部 「横須賀鎮守府司令長官」ハ十字及「教育本部長」ハ下ノ制註ヲ  
劍ル
- 六 海軍水雷術練習所ノ部 「横須賀鎮守府司令長官」ハ十字及「教育本部長」ハ下ノ制註  
ヲ劍ル
- 八 海軍機關術練習所ノ部 「横須賀鎮守府司令長官」ヲ「教育本部長」ニ改ム

九十七 海軍

0838

達第九十六號

海軍少尉候補生實務練習規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月七日

海軍大臣 山本權兵衛

第五條中「海軍大臣ニ報告スヘシ」ヲ「テ海軍教育本部長ニ報告シ海軍教育本部長ハ海軍大臣ニ進達ス」ニ改ム

達第九十七號

海軍少機關候補生實務練習規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月七日

海軍大臣 山本權兵衛

第五條中「海軍大臣ニ報告スヘシ」ヲ「テ海軍教育本部長ニ報告シ海軍教育本部長ハ海軍大臣ニ進達ス」ニ改ム

九十八

海軍

達第九十八號

海軍主計官練習所規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月七日

海軍大臣 山本權兵衛

第一條第二條第三條及第八條中「海軍大臣」ヲ「經理局長」ニ改ム

第八條第二項及第十六條第二項中「所屬艦團」ヲ「前所屬艦團」ニ改メ第十六條ノ次ニ左ノ

二條ヲ加フ

第十六條ノ二 本則第八條第二項及第十六條第二項ニ依リ前所屬艦ニ復歸セシムルニ當リ該艦遠隔ノ地ニ在ルカ或ハ其ノ所在不定ナルトキハ各其ノ在籍録守府ノ海兵團ニ復歸セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ當該艦長ニ通知スヘシ

第十六條ノ三 本則第八條第二項第十六條第二項及第十六條ノ二ニ依リ艦團其ノ他各部ニ復歸セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ各其ノ前所屬艦團其ノ他各部ノ長ニ通知スヘシ

0839

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第九十九號

海軍大學校規則中左ノ通改正ス

明治三十二年六月一日

海軍大臣　山本権兵衛

0840

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第一條及第二條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第三條 校長ハ學年ノ終ニ於テ會議ヲ開キ既往學術ノ進歩及將來教科ノ改良ニ就テ考查シ學事報告ヲ作リ海軍教育本部長ニ進達スヘシ

第五條中「海軍大臣ハ」ノド「教育本部長ヲシテ」ヲ加フ

第十條 海軍教育本部長ハ海軍大臣ヨリ學生候補者ノ願書又ハ候補名簿ノ移牒ヲ受ケタルベキハ其人名ヲ海軍大學校長ニ通知シ校長ハ試験問題ヲ秘封シ各所轄長ニ送附ス所轄長ハ試験ヲ行ヒ其ノ答解書ヲ校長ニ送附ス校長ハ之ヲ調査シ成績表ヲ海軍教育本部長ニ進達シ本部長ハ之ニ意見ヲ附シテ海軍大臣ニ進達スヘシ但シ試験ハ各地同日ニ行フヘキモノニシテ其ノ日限ハ試験問題ノ封筒ニ記スルモノトス若シ特別ノ事情ニ依リ其ノ期日ニ於テ試験ヲ行フ能ハサルトキハ所轄長ハ試験問題漏洩ノ虞ナキ限ハ其ノ期

九十九

海軍

日ニ係ラス試験ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ所轄長ハ其ノ事情ヲ海軍大學校長ニ通告スヘシ

第十五條第二項中「海軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ」ヲ「海軍教育本部長ノ認可ヲ受クヘシ但シ本部長ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スルモノトス」ニ改ム

達第百號

海軍兵學校規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月七日

海軍大臣 山本権兵衛

第一條及第二條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第三條中「教頭ノ意見書ヲ添ヘ海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第四條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第七條中「海軍大臣」ヲ總ヲ「海軍教育本部長」ニ改メ更ニ左ノ一項ヲ追加ス

前二項ノ場合ニ於テハ海軍教育本部長ハ速ニ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第十四條第四項ヲ左ノ如ク改ム

前諸項ノ場合ニ於テハ海軍教育本部長ニ報告シ本部長ハ之ヲ海軍大臣ニ達達スヘシ

第十九條ヲ削除ス

百 海 軍

0841

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第一號

海軍機関學校規則中左ノ通改正バ

明治三十三年六月七日

海軍大臣・山本權兵衛

0842

第一條及第二條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第三條中「教頭ノ意見書ヲ添ヘ海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第四條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第七條中「海軍大臣」ヲ總テ「海軍教育本部長」ニ改メ更ニ左ノ一項ヲ追加ス

前二項ノ場合ニ於テハ海軍教育本部長ハ速ニ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第十四條第四項ヲ左ノ如ク改ム

前諸項ノ場合ニ於テハ海軍教育本部長ニ報告シ本部長ハ之ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ

百一 海軍

達第二二號

海軍砲術練習所規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月七日

海軍大臣 山本權兵衛

第一條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第四條 所長ハ大試験成績表ニ意見ヲ附シ海軍教育本部長ニ進達スヘシ

第五條 所長ハ毎會計年度ノ終ニ於テ教育報告ヲ作り意見ヲ附シ海軍教育本部長ニ進達スヘシ

第七條第二項中「採用期日ヲ定ムヘシ」ヲ「採用期日ヲ定メ所轄長ニ通知ス所轄長ハ之ヲ  
期日以内ニ入所セシム」ニ改ム

第八條第二項中「横須賀鎮守府司令長官」ヲ「海軍教育本部長」ニ「第十七條」「第二十條」  
ニ同條第五項中「横須賀鎮守府司令長官ニ報告シ司令長官ハ之ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ」  
ヲ「海軍教育本部長ニ報告スヘシ」ニ改ム

第十四條中「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ「所屬ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改

ム

第十五條中「所屬艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

第十六條中「所屬ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ改

ム

第十七條中「所屬艦」ヲ「前所屬艦」ニ「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ「所屬艦長」  
ヲ「前所屬艦長」ニ改ム

第十八條中「所屬ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

0843

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第二百三號

海軍水雷術練習所規則中左ノ通改正バ

明治三十二年六月七日

海軍大臣 山本權兵衛

第一條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第四條 所長ハ大試験成績表ニ意見ヲ附シ海軍教育本部長ニ送達スヘシ

第五條 所長ハ毎會計年度ノ終ニ於テ教育報告ヲ作リ意見ヲ附シ海軍教育本部長ニ送達スヘシ

第七條第二項中「採用期日ヲ定ムヘシ」ヲ「採用期日ヲ定メ所轄長ニ通知ス所轄長ハ之ヲ期日以内ニ入所セシム」ニ改ム

第八條第二項中「横須賀鎮守府司令長官」ヲ「海軍教育本部長」ニ「第十五條」ヲ「第十八條」ニ同條第五項中「横須賀鎮守府司令長官ニ報告シ司令長官ハ之ヲ海軍大臣ニ送達スヘシ」ヲ「海軍教育本部長ニ報告スヘシ」ニ改ム

第十一条中「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ「所属ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

第十三條中「所屬ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

第十四條中「所属艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ改ム

第十五條中「所屬艦」ヲ「前所屬艦」ニ「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ「所屬艦長」ヲ「前所屬艦長」ニ改ム

第十六條中「所屬ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

達第百四號

海軍機關術練習所規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月七日

海軍大臣 山本権兵衛

第一條中「海軍大臣」ヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第四條 所長ハ大試験成績表ニ意見ヲ附シ海軍教育本部長ニ進達スヘシ

第五條 所長ハ毎會計年度ノ終ニ於テ教育報告ヲ作リ意見ヲ附シ海軍教育本部長ニ進達スヘシ

第八條第二項中「横須賀鎮守府司令長官」ヲ「海軍教育本部長」ニ「第十四條」ヲ「第十七條」ニ同條第五項中「横須賀鎮守府司令長官」ニ報告シ司令長官ハ之ヲ海軍大臣ニ進達スヘシヲ「海軍教育本部長」ニ改ム

第十一條中「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ「所屬艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

第十二條中「所属ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

第十三條中「所属艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ改ム

百四

海軍

第十四條中「所属艦」ヲ「前所屬艦」ニ「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ノ海兵團」ニ「所屬艦長」ヲ「前所屬艦長」ニ改ム

第十五條中「所属ノ艦團」ヲ「前所屬ノ艦團」ニ改ム

0845

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達五百五號

明治二十六年達五百四十一號中「機須賀守府司令長官」ヲ總て「海軍教育本部長」ニ改メ  
「總務」在ハベ」ヘ六字ヲ削ル

西元一千九百零六年六月七日

海軍大臣 山本權兵衛

總務司五課參照

西元一千九百零六年四月十一號ハ總務司五課於此方へ付ナシ

五百五 海軍

0846

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第一百六號

明治三十年十一月二日達第一百七十七號海軍病院規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月九日

海軍大臣 山本權兵衛

第一章

第六條中「看護術練習生及」ヲ刪ル

第十一條中「患者ノ所屬長」ヲ「所管長官」ニ改ム

第十一條及第十六條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第十一條ノ二 院長ハ入院患者中轉病スル者アリテ軍醫官服務規則第十八條ノ種別ニ異  
動ヲ生スルトキハ速ニ之ヲ患者ノ所屬長ニ通報スヘシ

第十六條ノ二 院長ハ看護術練習所長ノ職務ヲ監督シ練習生ノ學術進歩ニ注意スヘシ

第四章ノ次ニ左ノ一章ヲ加ヘ第五章以下順次繰下ク

第五章 看護術練習所長教官

第一條 看護術練習所長及教官ハ看護術練習所規則ニ依リ服務スヘシ

百六 海軍

0847

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

大正  
第一五〇五年ノヲ  
以テ本令改正

改正

達第百七號

海軍看護術練習所規則左ノ通定ム

明治三十二年六月九日

海軍大臣 山本権兵衛

海軍看護術練習所規則

第一條 病院長ハ海軍病院條例及本則ニ基キ教務及服務ニ關スル諸規程ヲ設ケ海軍大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ實施スヘシ

第二條 海軍看護術練習所ノ紀律ハ軍艦ノ例ニ準ス

第三條 病院長ハ所長ヲシテ學期ノ終ニ於テ教育ヲ會同シ看護術教授ノ成績及進歩并ニ練習生ノ技能品行ヲ考查シ之ヲ看護術進歩録ニ記註セシムヘシ

第四條 病院長ハ所長ヲシテ每學期ノ終ニ於テ教育報告ヲ調製セシメ卒業試驗成績表ト共ニ所管長官ニ報告シ長官ハ之ニ意見ヲ附シ海軍大臣ニ進達スヘシ

第五條 看護術練習生ニ採用スヘキ人員ハ甲乙二種ニ區分シ鎮守府毎ニ之ヲ定メ毎年五月及十一月之ヲ告達ス

百七 海軍

入所期日ハ毎年二月十五日及八月二十五日トス

第六條 各鎮守府司令長官ハ前條第一項ノ告達ニ基キ麾下艦團其ノ他各部及鎮守府在籍ノ艦船ニシテ常備艦隊編入中ノモノヨリ採用スヘキ人員ヲ定メ之ヲ麾下ニ通達スルト同時ニ常備艦隊司令長官ニ通知シ該長官ハ更ニ之ヲ其ノ麾下中關係ノ艦船ニ通達スヘシ前項ノ通達ヲ受ケタル艦團其ノ他各部ノ長ハ海軍病院條例第二十條及第二十一條ニ適合スル者ヲ選抜シ所見表ヲ添ヘ所管長官ニ具申スヘシ

常備艦隊司令長官ハ前項ノ具申ニ付キ取捨ヲ行ヒ所要ノ人數ヲ選抜シ之ヲ關係各鎮守府司令長官ニ移牒スヘシ

鎮守府司令長官ハ第二項ニ依リ受ケタル具申ニ付キ所要ノ人數ヲ選抜シ之ニ第三項ノ人數ヲ満足シ採用スヘキ者ヲ決定シ所見表ト共ニ病院長ニ下付スルト同時に艦團其ノ他各部ニ告達スヘシ但シ其ノ常備艦隊司令長官ノ麾下ニ屬スル者ハ該長官ヲ經ルモノトス

艦團其ノ他各部ノ長ハ前項ノ告達ニ基キ練習生ヲ命シ期日内ニ入所セシムヘシ

鎮守府司令長官ハ本條第一項ノコトヲ行シノフ當リテハ下士卒定員補充交代規則第七條

第八條ニ依リ及蒙處ノ系統ニ依リ陛下及常備艦隊外ニ在ル者ヲ精査シ通達ノ普及ヲ計ルヘシ

第七條 病院長ハ乙種看護術練習生卒業者ニシテ海軍病院條例第二十一條ニ適合スルモノアルトキハ其ノ前所屬艦團其ノ他各部ニ復歸セシムル前ニ於テ鎮守府司令官ノ認可ヲ受ケ引継キ甲種看護術練習生ヲ命スルコトヲ得

第八條 看護術練習生入所シタルトキハ病院長ハ其ノ人員ヲ鎮守府司令官ニ報告シ長官ハ之ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ

第九條 看護術復習ヲ志願セントスルモノハ裝創證狀有効滿期一箇年以前ニ於テ所屬長ニ出願シ所屬長ハ海軍病院條例第二十三條ニ依リ適當ト認メタルトキハ其ノ所見表ヲ添ヘ病院長ニ通知スヘシ

病院長ハ復習セシムヘキモノ、入所期日ヲ定メ之ヲ所屬長ニ通知シ且其ノ人員ヲ鎮守府司令官ニ報告シ長官ハ之ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ

第十條 練習生ノ學期ハ毎年二月二十日及セ九月一日ニ始マリ七月二十日及翌年二月二十日ニ終ル

百八

海軍

第十一條 乙種看護術練習生ノ教程ヲ卒業シタルモノニハ之ニ看護術修業證書ヲ授與ス  
第十二條 看護術練習生ニシテ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ日途ナキ者ハ病院長之ヲ免シ其ノ本籍鎮守府ノ海兵團ニ復歸セシメ且之ヲ其ノ前所屬ノ艦團其ノ他各部ノ長ニ通知スヘシ

第十三條 看護術練習生ニシテ練習生タルニ適セスト認メタルトキハ病院長之ヲ免シ其ノ前所屬艦團其ノ他各部ニ復歸セシム

第十四條 看護術練習生卒業ノ上ハ各其ノ前所屬艦團其ノ他各部ニ復歸セシム  
第十五條 前二條ニ依リ前所屬艦團其ノ他各部ニ復歸セシムルニ當リ該艦遠隔ノ地ニ在ルカ或ハ其ノ所在不定ナルトキ若クハ事故アリ出發セシムルコト能ハナルトキハ其ノ本籍鎮守府ノ海兵團ニ復歸セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ其ノ前所屬ノ艦團其ノ他各部ノ長ニ通知スヘシ

第十六條 看護術練習生ハ海軍病院内ニ起臥セシム

第十七條 甲種看護術練習生ハ復習人員ヲ合シ各鎮守府ヲ通シ二十四人以内トス

第十八條 所見表ノ書式ハ左ノ如シ

甲(乙)種看護術練習生所見表

身 體	善行章行狀	入籍年月日	海上勤務	賞罰	所 名	年 資	級 職
乙種看護術練習生		乙種看護術練習生年月日		服役年數	服役最初ノ日及卒業後ノ服役年數	テ記シ本人ナシテ捺印セシム	
分隊長所見	性質及舉動	品行及勤務	讀書	筆算	跡	何々	右所見ノ件々ハ本職其ノ擔保ノ責ニ任ス
明治年月日	分隊長官氏名印	百九	海軍				
右甲(乙)種看護術練習生ニ適當スル者ト認ム							
明治年月日	所屬長官氏名印						
ルマヲ該規則ニ依リ練習セシム							
明治三九年達丸六号							

## 附則

第十九條 看護術練習規則(廿九年十月)ニ據フ卒業シタル者ニシテ海軍病院條例第二十一

條ニ適合セル者ハ甲種看護術練習生ニ採用スルコトヲ得

第二十條 看護術練習規則ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス但シ現今練習中ノモノハ卒業ニ至

ルマヲ該規則ニ依リ練習セシム

明治三九年達丸六号

0850

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

正誤

明治三十三年達第九十五號中、一、二、七、年達第六十、一號トアルベ三十一年第百四十七、同  
年達第九十七號中、少機關候補生トアルハ少機關士候補生ノ事ヤ誤

海軍省副官

達第百八號

海軍參謀官タルモノハ參謀長參謀ノ職名ヲ置フルモノ若ハ特ニ命令ニ於テ規定アルモノ  
ノ外左ノ如ク改メラル

- 一 海軍軍令部長、次長、局長及局員
- 二 海軍省軍務局第一課長
- 三 各國公使館附海軍將校
- 四 海軍大學校敎官ノ中將校三人

海軍大臣 山本權兵衛

明治三十三年六月十二日

百十  
海 軍

0852

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百九號

海軍准士官下士卒任用進級試驗規則中左ノ通改ム

明治三十三年六月十三日

海軍大臣 山本權兵衛

第五條中「本籍海兵團」ヲ「在籍鎮守府ニ屬ヘル海兵團」ニ改ム

第十三條但書中「本人勤務ノ處長海兵團長ニ於テ互ニ相」ヲ「所屬長ヨリ本人在籍鎮守府  
ノ兵事官ニ」ニ改ム

達第百十號

海軍准士官下士任用進級取扱規則中左ノ通改正ス

海軍大臣 山本權兵衛

第六條第一項中「所屬ノ海兵團長ニ送ツ團長」ヲ「兵事官ニ送ツ兵事官」ニ改ム

百十一  
海軍

0853

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達五百十一號

海軍卒達級條例中左ノ通改正ス

明治三十三年六月十三日

海軍大臣 山本權兵衛

第十三條第一項及第十五條中「本籍ノ海兵團長ニ通知シ該長」ヲ「在籍鎮守府ノ兵事官ニ通知シ兵事官」ニ改ム

第十八條中「之ヲ本籍ノ」ヲ「之ヲ在籍鎮守府ニ屬スル」ニ改ム

達五百十二號

職時海軍死亡者取扱規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月十三日

海軍大臣 山本權兵衛

第五條第一項ヲ左ノ通改ム

百十二	海	軍
-----	---	---

所屬長ハ部下准士官以上及候補生死亡シタルトキハ海軍大臣ニ下士卒死亡シタルトキハ本人在籍鎮守府ニ報告シ鎮守府ハ之ヲ人事局長ニ通知スヘシ  
同第二項中「軍務局長」ヲ「人事局長」ニ改ム

0854

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

官  
軍  
港  
要  
港

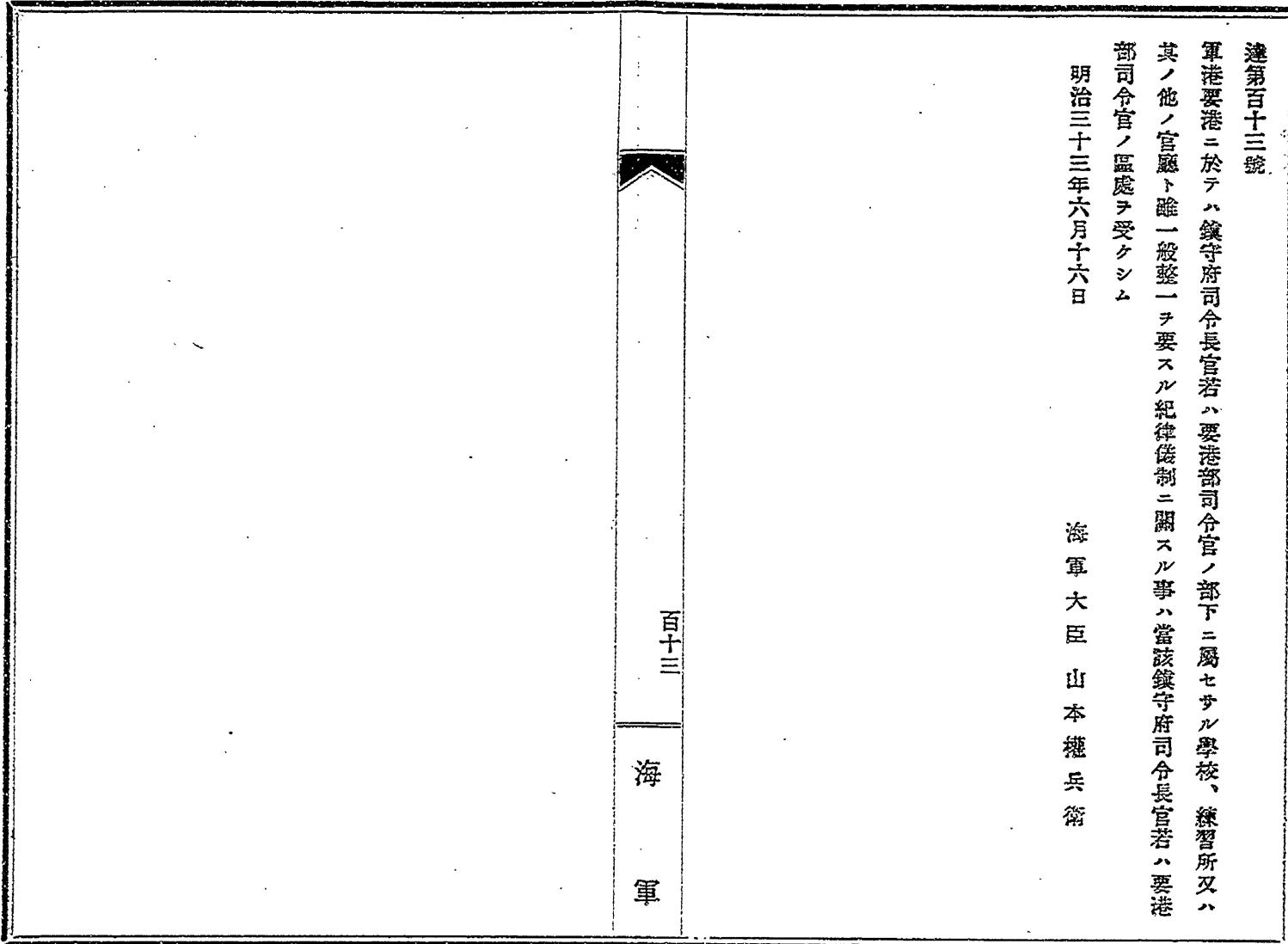
達第百十三號

軍港要港ニ於テハ鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ノ部下ニ屬セサル學校、練習所又ハ其ノ他ノ官廳ト雖一般整一ヲ要スル紀律儀制ニ關スル事ハ當該鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ノ區處ヲ受ケシム

明治三十三年六月十六日

海軍大臣 山本權兵衛

百十三 海軍



0855  
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

改正

0856

明治三十三年六月十六日  
支那事變  
正  
予

達第百十四號

雜役船舟ノ本籍ヲ定ムル左ノ如シ

明治三十三年六月十六日

海軍大臣 山本權兵衛

鎮守府司令長官ノ部下ニ在ル

本籍 常該鎮守府

海軍大學校ノ付屬船舟

海軍機關學校ノ付屬船舟

海軍砲術練習所ノ付屬船舟

海軍水雷術練習所ノ付屬船舟

海軍機關施練習所ノ付屬船舟

海軍主計官練習所ノ付屬船舟

水路部ノ付屬船舟ノ内北海道

沿岸ニ使用スルモノ

海軍兵學校ノ付屬船舟

舞鶴水雷團ノ付屬船舟 (舞鶴鎮守府)

本籍 橫須賀鎮守府

本籍 吳鎮守府

百十四 海軍

本籍 佐世保鎮守府

竹敷要港部ノ付屬船舟  
水路部ノ付屬船舟ノ内沖繩臺  
灣及韓國沿岸ニ使用スルモノ

正誤

本年達第八十六號第一表糧食品日當表備考十四項中骨付生熟魚肉ハ三分ノ一ノ下「割麥  
ハ貳十匁」ノ六字ヲ脱ス

海軍省副官

達第百十五號

軍法會議書類保存規程左ノ通相定ム

明治三十三年六月十八日

海軍大臣 山本權兵衛

改正

軍法會議書類保存規程

第一條 檢察書類審問書類ハ其ノ處分ヲ中止シ又ハ處分ヲ終ツタル日ヨリ左ノ年月間之ヲ保存スヘシ

一 違警罪事件ニ付テハ六月

二 軽罪事件ニ付テハ三年

三 重罪事件ニ付テハ十年

前項ノ期間滿了前檢察又ハ審問處分ヲ再興シタルトキハ前項ノ期間ハ更ニ其ノ處分ヲ中止シ又ハ處分ヲ終ツタル日ヨリ之ヲ起算ス

第二條 判決書類ハ判決宣告ノ日ヨリ左ノ年間之ヲ保存スヘシ

百十五  
海軍

一 違警罪事件ニ付テハ一年

二 軽罪事件ニ付テハ七年

三 重罪事件ニ付テハ二十年

四 死刑無期刑ニ處シタル事件ニ付テハ二十五年

欠席判決書類ニ付テハ刑ノ時効成就ノ日ヲ以テ保存期間ノ満了トス

第三條 刑ノ執行ヲ遅レタル者ニシテ前條ノ期間滿了前ニ逮捕セラレタルトキハ前條ノ期間ハ其ノ逮捕ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四條 前三條ノ場合ニ於テ保存期間ヲ異ニスル數事件ノ併合シタル書類ニ付テハ其ノ期間ノ長キモノニ從フ

第五條 左ニ記載シタル書類簿冊ハ永久之ヲ保存スヘシ

- 一 判決書、言渡書、命令書其ノ他裁判ノ原本
- 二 恩赦、減刑、復讐其ノ他刑ノ執行ニ關スル書類簿冊
- 三 檢察簿、審問簿、判決簿、其ノ他訴訟事件ノ類末ヲ記載シタル簿冊

0857

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

四 刑決便覽

五 諸表

六 第七條第二項ニヨリ調製スル目錄

第六條 前數條ニ記載シタル以外ノ書類簿冊ハ最終ノ經込又ハ記入ヲ爲シタル日ヨリ二年間之ヲ保存スヘシ

第七條 保存期間ヲ超過シタル書類簿冊ハ高等軍法會議ニ在テハ司法局長、常設軍法會議ニ在テハ上席主理、艦隊軍法會議ニ在テハ艦隊副官之ヲ審査シ適宜處分スヘシ  
前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ目錄ヲ調製シ處分ノ頃末ヲ明ニシ置クヘシ

百十六 海軍

0858

達第百十六號

軍事費機動費取扱規程第七條ニ左ノ二項ヲ加フ

明治三十三年六月十八日

海軍大臣 山本権兵衛

艦船主計長ハ常備艦隊主計長ト同一ノ地位ニ在ルトキハ前項ノ當該艦船経費ノ委任仕拂命令官ニ對スル經費要求書ハ第三條ノ機動費要求書ト共ニ之ヲ常備艦隊主計長ニ提出スヘン

常備艦隊主計長ハ前項ノ要求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ當該委任仕拂命令官ニ送附シ機動費ノ補填ニ機宜ヲ失スルコト勿ラシムヘシ

百十七 海軍

0859

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

明治三十三年六月十九日  
達第百十七號

留學生監督服務規則左、通定ム

明治三十三年六月十九日

海軍大臣 山本權兵衛



留學生監督服務規則

第一條 留學生監督ハ留學生ノ品行勤惰ヲ監視シ其ノ學術研究及身上ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理ス

第二條 留學生監督ハ六箇月毎ニ留學生ノ品行勤惰及學術研究ニ關スル詳細ナル報告書ヲ調製シ其ノ所屬ニ從ヒ教育本部長、總政本部長、醫務局長若ハ經理局長ニ進達スヘシ

第三條 留學生監督ハ留學生中傷痍疾病ニ罹リ若ハ怠惰放逸ニシテ修業ノ目的ヲ達スルコト能ハサル者ト認メタルモノアルトキハ其ノ現症豫後若ハ品行等ヲ詳記シ意見ヲ附シ第一條ニ準シ本部長若ハ局長ニ具申スヘシ

百十八

海軍

第四條 留學生ノ願、伺、届、報告等一切ノ書類ハ之ヲ留學生監督ニ出サシメ監督ハ精査ノ上意見ヲ附シ前條ニ準シ進達スヘシ

第五條 留學生トハ學術研究ノ爲外國ニ留學ヲ命シタル海軍々人及生徒ヲ護フ

達第百十八號

明治二十二年達第一十一號ヲ廢ス

明治三十三年六月十九日

海軍大臣 山本權兵衛

達第百十八號參照  
明治二十二年達第二十一號ヘ外國留學生取締規則ナリ

0860

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百十九號

海軍各學生生徒及練習生ニ授與スル證書及證狀書式左ノ通り改ム  
但用紙ハ從前ノ通  
改ラ本ノト

明治三十三年六月二十日

海軍大臣 山本權兵衛



0861

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第一號書式

第 號

卒業證書

海軍大學校(將校科甲(乙)種)

[機關科長(短)期]學生

官 氏 名

海軍大學校[將校科甲種(乙)種(統海  
術)(砲術)(水雷術)專科][機關科長(短)期]

教程卒業ヲ證ス

年 月 日

海軍大學校長官位勳功爵氏名

[印鑑]

百二十

海軍

第二號書式

第 號

卒業證書

海軍兵學校(海軍機關學校)生徒

氏 名

海軍兵學校(海軍機關學校)教程卒

業ヲ證ス

年 月 日

海軍兵學校(海軍機關學校)長官位勳功爵氏名

[印鑑]

0862

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第三號書式

第  
二  
號

及第證書

海軍兵學校(海軍機關學校)生徒

氏  
名

海軍兵學校(海軍機關學校)第何學

年大試驗及第ヲ證ス

年月日

海軍兵學校(海軍機關學校)長官暨勳功簿氏名

[印紙]

第四號書式

第  
一  
號

修業證書

官  
氏  
名

海軍砲(水雷)術練習所ニ於テ砲(水雷)術修業ヲ證ス

年月日

海軍砲(水雷)術練習所長官位勳功簿氏名

[印紙]

0863

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第五號書式

第 號

卒業證書

海軍水雷術練習所學生(商船學

校學生)

官 氏 名

海軍水雷術練習所學生(海軍砲術  
練習所商船學校學生)教程卒業ヲ

證ス

年 月 日

海軍水雷(砲)術練習所長官位勳功爵氏名

印職

第六號書式

第 號

適任證書

官(職)氏 名

砲術(水雷術)(機關術)教員ニ適任ナ

ルヲ證ス

年 月 日

(海軍水雷術練習所)長官位勳功爵氏名  
印職

0864

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第七號書式

第一號

掌砲(掌水雷)(水雷工)證狀 何等

官(職)氏名

海軍砲(水雷)練習所長官位勳功爵氏名印  
海軍砲(水雷)練習所長官位勳功爵氏名印  
海軍砲(水雷)練習所長官位勳功爵氏名印

海軍砲(水雷)練習所長官位勳功爵氏名印

年月日

第八號書式

第二號

通任證書 何等

官(職)氏名

信號ニ通任ナルヲ證ス

年月日

某海兵團長官位勳功爵氏名印

0865

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第九號書式

第 號

達任證書

官(職)氏 名

軍樂教員ニ達任ナルヲ證ス

年 月 日

横須賀海兵團長官位勳功爵氏名

印

第十號書式

第 號

卒業證書

官(職)氏 名

海軍軍樂高等(普通)科練習生卒業

ヲ證ス

年 月 日

横須賀海兵團長官位勳功爵氏名

印

0866

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第十一號書式

第  
號

卒業證書

官  
氏  
名

海軍機關術練習所長官位勳功爵氏名

程卒業ヲ證ス

年  
月  
日

海軍機關術練習所長官位勳功爵氏名

[印鑑]

百一十五

海  
軍

第十二號書式

第  
號

機關工(船匠工)(兵器工)證狀 何等

官(職)氏  
名

海軍機關術練習所機關工(何々工  
業專修)

(船匠工)(兵器工)教程卒業ヲ證ス

年  
月  
日

海軍機關術練習所長官位勳功爵氏名

[印鑑]

0867

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第十三號書式

第 號

卒業證書

海軍軍醫學校學生

官 氏 名

海軍軍醫學校軍醫官(少軍醫候補  
生)學生教程卒業ヲ證ス

年 月 日

海軍軍醫學校長官位勳功爵氏名

[印職]

百一十六

海 軍

第十四號書式

第 號

裝創證狀

何等

官(職)氏 名

看護術練習所甲種練習生教程卒業ヲ證ス

年 月 日

某海軍病院看護術練習所長官位勳功爵氏名

[印職]

0868

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第十五號書式

第 號

卒業證書

官(職)氏名

看護衛練習所乙種練習生敎程修

業ヲ證ス

年月日

某海軍病院看護衛練習所長官位勳功爵氏名

印職

第十六號書式

第 號

卒業證書

海軍主計官練習所學生

官 氏 名

海軍主計官練習所主計官(少主計  
候補生)學生敎程卒業ヲ證ス

年月日

海軍主計官練習所長官位勳功爵氏名

印職

0869

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第十七號書式

第  
號

修業證書

官 氏 名

海軍主計官練習所長官位勳功爵氏名

海軍主計官練習所長官位勳功爵氏名

印職

年 月 日

業ヲ證ス

第十八號書式

第  
號

卒業證書 何等(甲)(乙)

海軍造船工練習所職工

氏  
名

百二十八

海  
軍

海軍造船工練習所造船科(造機科)

教程卒業ヲ證ス

年 月 日

海軍造船工練習所長官位勳功爵氏名

印職

0870

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達五百二十號

海軍武官考課表規則中第八條以下ヲ左ノ通改正ス

明治二十二年六月二十一日

海軍大臣 山本権兵衛

第八條 別表第一號ノ記註ハ左項ニ依ル

一 考課表中學術以下ノ欄内ニハ調製官員ヲ記註シ上官ノ所見欄内ニハ上官自ラ記註スヘシ

二 初行欄内ニハ明治何年何月考課表ト記ス其年月ハ第四條ニ依ル但臨時ノ考課表ハ其調製時ノ年月ニ依ル

三 年齢ハ前項ノ年月ニ於ケルモノヲ記載スヘシ

四 出身欄内ニハ初テ兵籍ニ入リシ時ノ年月日及官職名等ヲ記載スヘシ

五 實役停年及海上勤務欄内ニハ准士官以上ニ在テハ六月三十日下士ニ在テハ三月一日調査ニ係ル年月日ヲ記載スヘシ但臨時ノ考課表ニ在テハ其調査ノ日ニ依ル

六 戰役欄内ニハ出身前後ヲ問ハス某役ニ何官職ニテ從軍ノコトヲ記載スヘシ

百二十九 海軍

七 賞及罰欄内ニハ出身以後ノモノヲ記載スヘシ

八 學術欄内ニハ其長スル所ノモノヲ記載スヘシ

九 技能欄内ニハ部下ヲ統御スル法アリ、運轉ノ術ニ妙ヲ得、操砲ニ熟練ナリ、某ノ事ニ巧ナリ、衛生ノ注意周到ナリ、糧食ノ調辨快速ナリ等ノコトヲ記載スヘシ

十 性質欄内ニハ勇壯、剛毅、溫厚、篤實、眞密、活潑、沈着、磊落、冷慄、勇決、廉潔、謹躁、緩慢、執拗、傲慢等ノコトヲ記載スヘシ

十一 品行及勤怠欄内ニハ三等ニ區分シ甲、乙若クハ丙ト記載スヘシ

十二 調製官ノ所見欄内ニハ必要ト認ムル事項ヲ記載シ署名捺印スヘシ

十三 上官ノ所見欄内ニハ考課表ヲ歷視スル諸官各其必要ト認ムル事項ヲ記載

シ署名捺印スヘシ

第九條 所管長官其隸下ヲ離レタル下士アルトキハ其考課表ハ直ニ新所管長官ニ移牒スルモノトス

0871

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

(別表第一號)

| 職官爵氏年<br>所 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 性質         | 技術         | 學術         | 體制         | 資質         | 戰役         | 實役停年       | 出身         | 現官ニ任シタル月日  | 海上勤務       |
| 勤意         | 品行         | 體格         |            |            |            |            |            |            |            |
|            |            |            |            |            |            |            |            |            |            |

見所ノ上宮	所見ノ官調製

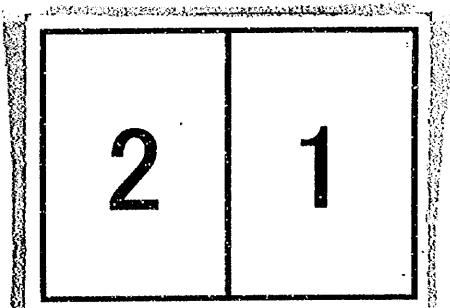
0872

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上ため
文書等名	別表第2号
上記のとおり分割撮影したことの証明する。	

別表第一號



改三  
明治三十三年六月二十一日  
本草改正

達第百一十一號

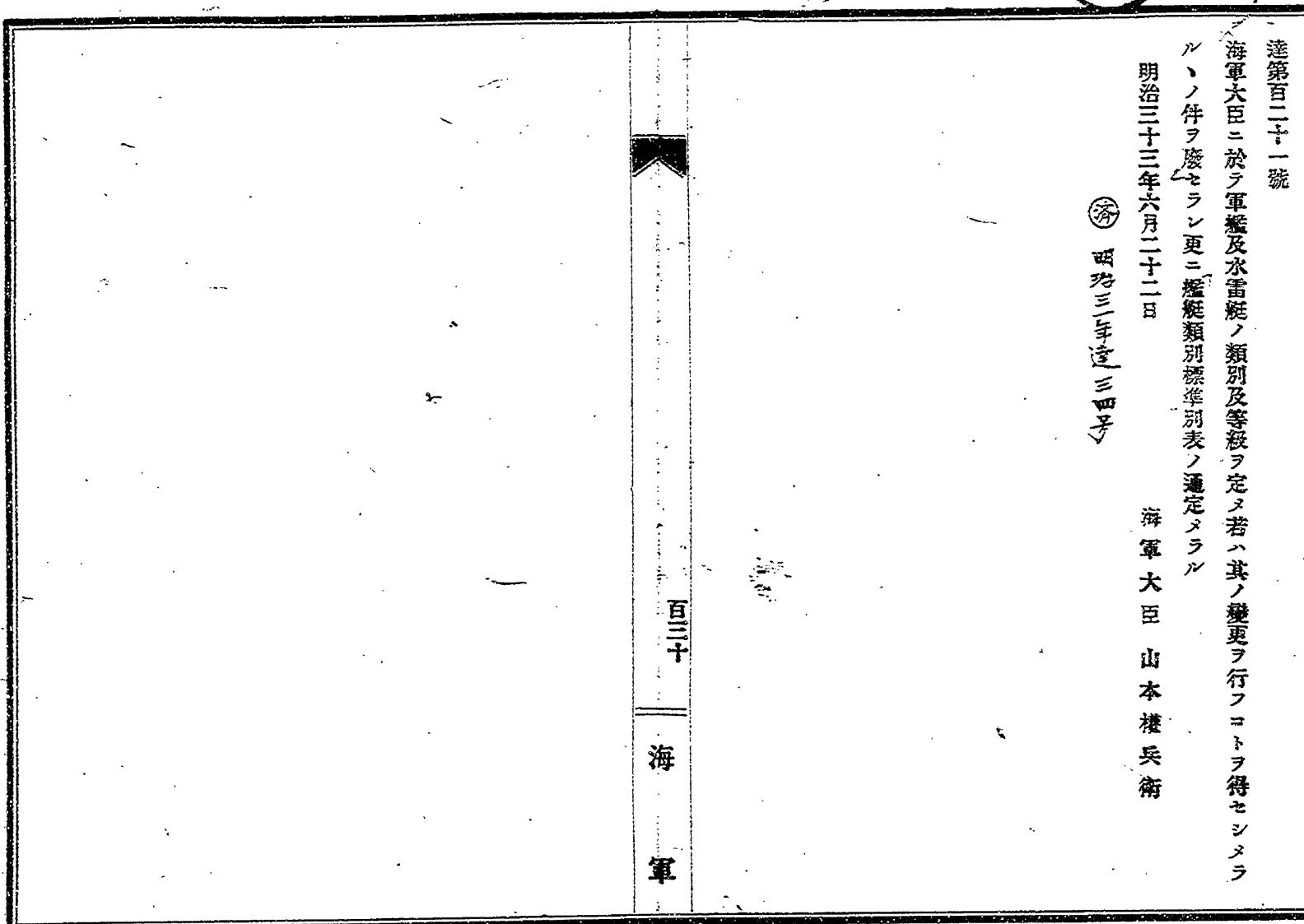
海軍大臣ニ於テ軍艦及水雷艇ノ類別及等級ヲ定メ若ハ其ノ變更ヲ行フコトヲ得セシメラ  
ル、ノ伴ラ廢セラン更ニ艦艇類別標準別表ノ通定メラル

明治三十三年六月二十一日

海軍大臣 山本權兵衛

(了) 明治三十三年達三四号

百三十一 海軍



0875

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

(別表)

## 艦艇類別標準

考備	船	雷	水	軍				類別	等級	計量排水量
				戰艦	巡洋艦	海防艦	砲艦			
	驅逐艦	水雷母艦	通報艦	一等	二等	三等	二等	二等	一等	一萬噸以上
										一萬噸未滿
										七千噸以上
										三千五百噸未滿
										三千五百噸以上
										七千噸未滿三千五百噸以上
										三千五百噸未滿
										一千噸以上
										百二十噸以上
										百二十噸未滿七十噸以上
										七十噸未滿二十噸以上
										二十噸未滿
	四	等								

海軍大臣ハ本表ニ依リ軍艦及水雷艇ノ類別並等級ヲ定メ若ハ變更ス

第三百三十九号  
軍艦及水雷艇類別等級別表ノ通改ム

達第百二十二號

明治三十三年六月二十二日

海軍大臣 山本權兵衛

0877

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

## (別表)

考 備	艇 雷 水	軍 巡洋艦	海防艦	砲 艦	通報艦	驅逐艦	水雷母艦	一 等	二 等	三 等	四 等
水等軍艦 種二等艇稱ヲ スルニ以テ ノトアリト アリ	一 等	一 等	一 等	一 等	一 等	一 等	一 等	一 等	一 等	一 等	一 等
水等軍艦 種二等艇稱ヲ スルニ以テ ノトアリト アリ	二 等	二 等	二 等	二 等	二 等	二 等	二 等	二 等	二 等	二 等	二 等
水等軍艦 種二等艇稱ヲ スルニ以テ ノトアリト アリ	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等
水等軍艦 種二等艇稱ヲ スルニ以テ ノトアリト アリ	四 等	四 等	四 等	四 等	四 等	四 等	四 等	四 等	四 等	四 等	四 等

レ〇

達第二百二十三號

驅逐隊司令ノ乗リタル驅逐艦ニハ司令旗ヲ掲ケシメラル

明治三十三年六月二十二日

海軍大臣 山本權兵衛

大正三年  
本号停止  
全般停止  
第十九號停止

廢止

廢止

廢止

廢止

達第二十四號

驅逐艦ニ司令旗ヲ掲クルニハ海軍旗章條例ノ規程ヲ準用スル儀ト必得ヘシ

明治三十三年六月二十二日

海軍大臣 山本權兵衛

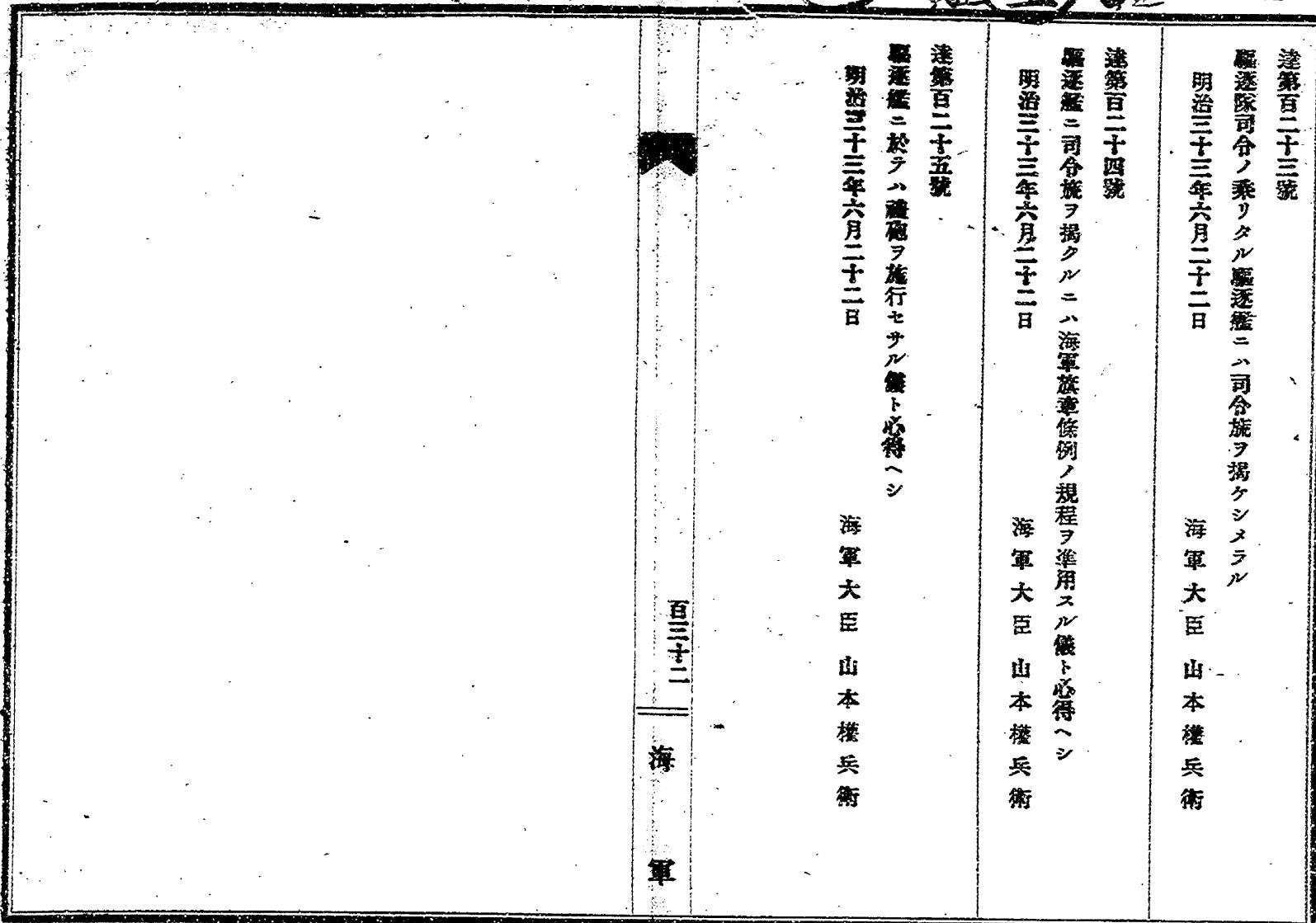
達第二十五號

驅逐艦ニ於テハ禮砲ヲ施行セナル儀ト心得ヘシ

明治三十三年六月二十二日

海軍大臣 山本權兵衛

五百三十二 海軍



達百二十六號

海軍軍樂練習生規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月二十五日

海軍大臣 山本權兵衛

第十二條ノ一 卒業試験ノ成績ハ團長之ニ意見ヲ附シテ横須賀鎮守府司令長官ニ報告シ横須賀鎮守府司令長官ハ之ヲ海軍教育本部長ニ移譲スヘシ

達第二十七號

信號練習生規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月二十五日

海軍大臣 山本權兵衛

第十二條ノ二 卒業試験ノ成績ハ團長之ニ意見ヲ附シテ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ之ヲ海軍教育本部長ニ移譲スヘシ

四三三

海軍

達第一百二十八號

五等卒教育規則及五等卒教育要旨中左ノ通改正ス

明治三十三年六月二十五日

海軍大臣 山本權兵衛

第三條 海兵團長及病院長ハ本則及教育要旨ニ基キ五等卒教育ニ關スル細則及教程ヲ

定メ鎮守府司令長官ノ認可ヲ經テ之ヲ實施スヘシ但シ鎮守府司令長官ハ之ヲ認可ス

ルニ先チ海軍教育本部長ニ合議スルヲ要ス

海兵團長及病院長ハ五等卒教育主任ヲ定メ細則及教程實施ノ責ニ任せシムヘシ

第五條 卒業試験ノ成績ハ海兵團長若クハ病院長之ニ意見ヲ附シテ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ之ヲ海軍教育本部長ニ移譲スヘシ

卒業試験ノ成績ハ之ヲ履歴ニ記入スヘシ

0860

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百二十九號

軍事郵便規則第三條第一號中「二夕」「四夕」ニ改メラル

明治三十三年六月二十八日

海軍大臣 山本權兵衛

達第百三十號

氣象觀測通報規程中左ノ通改正ス

明治三十三年六月二十八日

海軍大臣 山本權兵衛

第九條 艦船航海中ハ毎日第一條ニ掲タル時刻ニ於テ氣象ノ觀測ヲ行ヒ海上氣象通報ヲ製シ毎月一日ニ於テ前月分ヲ取纏メ之ヲ水路部ニ送致スヘシ水路部ニ於テハ之ヲ中央氣象臺ニ轉送ス其ノ通報ハ別紙様式ニ依ル

百三十四

海軍

正誤

本年達第百二十六號達第二十七號及達第二十八號中「移謀」「移牒」ノ誤

海軍省副官

0881

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百三十一號

雇員傭人規則中左ノ通改正ス

明治三十三年六月三十日

海軍大臣山本権兵衛

第一條第二項中「艦團部隊ニ於テハ」ヲ「艦團部隊ニ於テハ柔道教員、」ニ改ム

第三條左表中割烹ノ欄「別表ニ依ル」ヲ「艦團隊及要港部ニ於テ使役スル定員ハ別表ニ依ル」ニ改ム

同表中從僕ノ欄「同」ヲ「艦團隊及要港部ニ於テ使役スル定員ハ別表ニ依ル」ニ改ム

同表中剝夫ノ欄「同」ヲ「艦團隊及要港部ニ於テ使役スル定員ハ別表ニ依ル」ニ改ム

同表中給仕ノ欄「艦團部隊及砲術練習所、機關術練習所、水雷術練習所ニ於テ使役スル定員ハ別表ニ依ル」ヲ

「艦團隊及要港部ニ於テ使役スル定員ハ別表ニ依ル」ニ改ム

第四條第一號中「及別表ニ依リ使役スル給仕」ヲ「及砲術練習所、水雷術練習所並別表ニ依リ使役スル給仕」ニ改ム

百三十五 海軍

柔道教員	從僕	給仕	剝夫	割烹
驅逐隊司令乘艦	○	一	○	○

正誤

本年達第百二十號別表第一號

一 鎮守府艦隊艦船ノ欄 「鎮守府艦隊司令官」トアルハ「鎮守府艦隊司令官(司令ニ分屬ノ艦長ニ在テハ司令)」ノ誤り

一 常備艦隊艦船ノ欄 「(司令官ニ分屬ノ艦長ニ在テハ司令官)」トアルハ「(司令官、司令ニ分屬ノ艦長ニ在テハ司令官、司令)」ノ誤り

海軍省副官